



ラウンジ QR コード

大きな地震はいつ来るか分かりません! —地震の時外国人はどうしたらよいのでしょうか—

2024 年は大きな地震で始まりました。「令和 6 年能登半島地震」です。多くの外国人も被災しました。石川県に在住する外国人は約 1 万 7 千人。一方、横浜市に住んでいる外国人の数は約 11 万人。横浜市民の 3 % です。今回の能登半島地震を契機に、横浜で地震が起きた時の外国人の支援について、公益財団法人横浜市国際交流協会 (YOKE) の多文化共生推進課担当課長の中村暁晶さんと担当職員の布施裕子さんにお聞きしました。

Q. 外国人の支援を行う立場から能登半島地震を受けて、どんな感想を持ちましたか？

中村: 地震、津波のあとに何がおこるのか、外国人住民が理解し、想像してもらえるか心配です。日頃の備えが十分か不安になりました。

布施: 今回は、1 月 1 日に起こりました。1 年の中で最もゆったり過ごしている特別な日に起こりました。その中で、石川県国際交流協会のアクションは非常に早かったと思います。職員も被災する。そんな中で、万一の場合、YOKE も同じようなことをやらなければならないと気を引きしめたところでした。



中村暁晶さん

Q. 大地震が横浜で起きた場合の外国人の支援について、どう考えていますか？

布施: 大きな地震のあと、津波が来ること、何度も地震が続くことを早く伝える必要があります。外国人には地震が起きた時のシミュレーションが必要だと考えます。

中村: YOKE では災害時の外国人対応について、職員訓練を行ったばかりです。また、私自身が参加した研修では、情報を得る段階が日本人と外国人とでは大きく違うことを学びました。人が行動を起こす時には、ストック情報とフロー情報が基本になります。地震の場合は、日本人なら過去の地震を通じて得ている、これは危ないと実感できる情報（これがストック情報です）があります。そして地震が起きて、テレビやラジオを通じた情報（これがフロー情報です）で、すぐに避難行動を行うことができます。



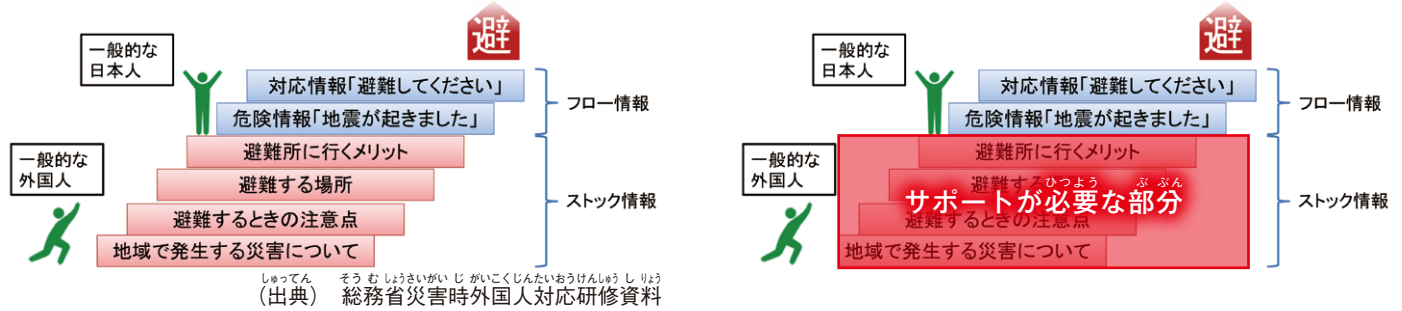
布施裕子さん

外国人にはこのうちのストック情報（地震で生活がどうなるのか、避難場所に行くメリットなどの情報）がないために、「危険です。逃げて下さい。」というフロー情報をテレビやラジオで聞いても、どのように行動してよいのか分かりません。

これまで私たちは、地震が起きた時に、すぐ避難と呼びかけてきました。しかし、それ以前に、このストック情報をもっと外国人に知ってもらう必要がある（次ページの図の赤で塗られた部分）というのが、研修で学んだ点でした。啓発、訓練などの活動をどう地域で外国人と一緒にするか。外国人にどう災害をイメージしてもらうかが、今後のラウンジの活動の方向だと考えています。

横浜市青葉国際交流ラウンジは、横浜市の委託を受けて NPO 法人横浜青葉国際交流の会が運営しています。

おとしんそな 大地震に備えよう (YOKEに聞いてみました)



Q. 大地震が起きた場合、外国人はどうすれば良いのでしょうか？

布施: 地震や災害が起きると、横浜市国際交流協会では、横浜市との協定に基づき、横浜市外国人災害時情報センターを開設します。災害時に必要なことをまとめたカードを作成し、配付しています。ぜひ利用してもらいたいです。

横浜災害情報サイト(やさしい日本語)

横浜災害情報サイト (やさしい日本語)

災害の被害を小さくするため、普段から準備をしましょう。

情報が届きます。登録してください。

横浜市多文化共生総合相談センター | 横浜市国際交流協会 (YOKE)

横浜市外国人災害時情報センター

横浜で大きな災害があった時、センターができます。

TEL 045-222-1209 Email saigai@yoke.or.jp

横浜市避難ナビ

災害の時に便利なアプリ

Safety tips

観光庁監修の外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ

対応言語：日本語、簡体字中国語、繁体字中国語、英語、韓国語など 14 言語

横浜市避難ナビ

QRコードからインストールすると平時モードの画面が現れます。災害時には非常時モードにかわります。

対応言語：日本語のみ / 一部情報は自身の端末の言語で表示される

Q. 災害時、日本人にお願いしたいことは？

布施: 普段から外国人と交流を図り、文化を理解することが大切です。例えば、宗教上の理由で、食べられない食材があると知っている、避難所の外国人も安心できます。また、市内の防災拠点には、避難所での生活に必要な「災害時多言語表示シート」も用意されていますが、あまり知られていません。避難所に行くことになり、まわりに外国人がいた時には、避難所の責任者に、この表示シートがあることを伝えてください。また、YOKEでは避難所などに通訳を派遣するYOKE災害時通訳翻訳ボランティア登録制度があります。ご協力いただける方は、ぜひYOKEにお問い合わせください。

Q. 今後のラウンジの課題は？

中村: 外国人との協力を進めることが大切です。一部の国際交流ラウンジには外国人と地域社会をつなぎ、外国人が活躍できる環境を作る「地域コーディネーター」がいます。「地域コーディネーター」などが中心となり、交流会や地域イベントへの参加など、地域社会とのネットワークづくりを進めていくことが大切です。

《まとめ》

災害時に多くの外国人被災者がいると想像して、行動しなければいけません。外国人を巻き込んだ地域での交流、いざという時の助け合いにつながると感じました。

青葉国際交流ラウンジは、市内に12カ所ある国際交流ラウンジのひとつです。地域に住んでいる外国人支援、国際交流、多文化共生を進めています。設立は1989年。今年35周年を迎えます。外国人住民への情報提供や相談にに応じているほか、日本語学習教室などを開いています。また、異なる文化を理解するために、さまざまな国際交流活動も行っています。外国人と日本人が安心して暮らせる街づくりを進めるには、地域との連携も大切です。お互いを理解し尊重することを心がけ、やさしい日本語で、外国の方々に声をかけてみてください。

ラウンジの活動紹介

青葉区民まつり2023

青葉区民まつりが、11月3日(金・祝)に4年ぶりにフル開催されました。当日は好天に恵まれ多くの区民が来場し各ブースでは大変な賑わいとなりました。当ラウンジのブースでは、ラウンジの紹介に努め、世界のお茶を販売しました。近年になく多くの人にお立ち寄りをいただきました。



第17回 青葉区民交流センターまつり

青葉区民交流センターまつりが、11月23日(金・祝)に4年ぶりに開催されました。広場での催しはコロナ前の賑わいとなりました。室内ではコロナ感染に配慮して、ラウンジの紹介ビデオを上映するなどの工夫をこらし、センターまつりを楽しんでいただきました。



日本語スピーチ大会

11月19日(日)3年ぶりに日本語スピーチ大会を、青葉公会堂2階会議室で開催しました。

今年度は、インドネシア、中国、メキシコ、ロシア、ブラジル、インド、トリニダードトバゴ、ベトナム、オーストラリアの9カ国から13名が参加し、日ごろ学んでいる日本語の成果を発表しました。



第87回 アフタヌーンティー

—青空と草原の国「モンゴル」 モンゴル —遠いようで近くに—

12月3日(日)小学生時代を日本、中高校をモンゴルで過ごしたのち、横浜国立大学に留学。現在は日系企業で多忙な日々を送るモンゴルのビヤムバドルジ・ヤントゴトホさんに青空と草原の国「モンゴル」を語っていただきました。

遊牧民の生活や文化、お祭り、自然の恵みを大切にする生活習慣など大変興味深いお話でした。また、馬頭琴の素晴らしい演奏や、質問にりゆうちょうな日本語で丁寧な姿勢に「素晴らしい講演だった」「モンゴルが身近に感じられた」と大好評でした。





ほん し く に ひ と あ
本から知らない国の人たちに出会えます。
 ほん ひ と り さつ しゅうかん か
 ラウンジの本は一人2冊まで2週間借りることができます。

あさきゆめみし(源氏物語) (著)大和和紀 (株)講談社・漫画文庫 全7巻
 源氏物語は平安時代中期(11世紀初め)に紫式部によって書かれた長編小説です。
 この本は、この源氏物語をマンガ化したものです。全部で7巻あり長編ですが、源氏物語を理解するために、読んでみませんか。今、NHK大河ドラマ「光る君へ」で放映されています。

2月24日外国人ビブリオバトル『なぜその本を選んだの?』というイベントを実施しました。
 6人の外国人がなぜその本を選んだかの紹介を競います。「どの本が一番読みたくなかったか」、会場でも多くの票を集めた③疾走中国をチャンプ本としました。①~⑥まで、6人が選んだ本を皆さんも読んでみませんか? ラウンジの本棚にならびます。お楽しみに!

① 虹の少年たち

(著)アンドレア・ヒラタ 上智大学出版
 生徒数不足で閉校?とされていた貧しい村の小学校に学ぶ10人の子供たちが、教育熱心な校長と教師により個々の才能を開かせて…

② 魔女の宅急便

(著)角野英子 (画)林明子 福音館書店
 魔女の母と人間の父の子、キキは魔女になることを選びました。何か人の役に立つことは? 空を飛んで物を届ける運送屋さん!「魔女の宅急便」店を開きました。そしてそれから…

- ③ 疾走中国 (著)ピーター・ヘスラー (株)白水社
- ④ ヤギとライオン (著)内田莉莎子 (株)鈴木出版
- ⑤ 美しき日本の残像 (著)アレックス・カー (株)朝日新聞出版
- ⑥ 女のいない男たち (著)村上春樹 (株)文芸春秋

おしらせ

○HPのリニューアル



2023年12月25日よりホームページをリニューアルしました。多文化共生に向け、より充実した情報の提供と多くの皆さまの交流を深める場となるよう努めていきます。

このQR/URLからご覧ください。
<https://www.aoba-lounge.com/>

○開館時間の変更について

当会館の開館時間は、2024年4月より以下の通り変更します。ご利用の際にはご協力ください。

開館時間: 月曜日・火曜日 午前9時~午後5時
 水曜日~土曜日 午前9時~午後9時
 第3日曜日・祝日 午前9時~午後5時
 休館日: 毎月第3日曜日を除く日曜日及び年末年始

✿ 編集後記 ✿

能登半島地震が起き、あらためて日本は地震の多い国だと感じました。能登は観光地ですし、外国人も多く住んでいます。横浜でも大きな地震が、いつおきてもおかしくありません。
 外国人にとっては、地震がおきるとどうなるのか、わからないのです。避難する場所もわかりません。ラウンジとしては、にげる時の情報をうまく伝えていきたいと思えます。日本人と外国人とのコミュニケーションに、やさしい日本語を使い、防災訓練にあたりまえのように、近所の外国人も参加しているようになるとういことです。

日本語をならいたい人!

- おとなのための教室 (高校生以上)
 日本語教室 会費: 300円/月 (どのクラスも)
 水曜日クラス 午前9時30分~11時
 木曜日クラス 午後6時30分~8時
 土曜日クラス 午前9時30分~11時
- 学習補習教室(無料)(外国につながる子どものためのクラス)
 2024年4月から教室の時間が変わります。
 水曜日 (小学校入学1年前~小学6年生)
 午後4時~5時30分
 (中学生) 午後5時45分~7時15分



日本語教室に入りたい人は、今は入れるかどうかをラウンジのホームページか、窓口に確認してください。

- 学習者のニーズや要望に沿った日本語学習だけでなく日本の文化や習慣など生活情報も伝えます。
- 外国につながる子どもたちの日本語学習です。それぞれの学習支援、学校の宿題のサポートをします。